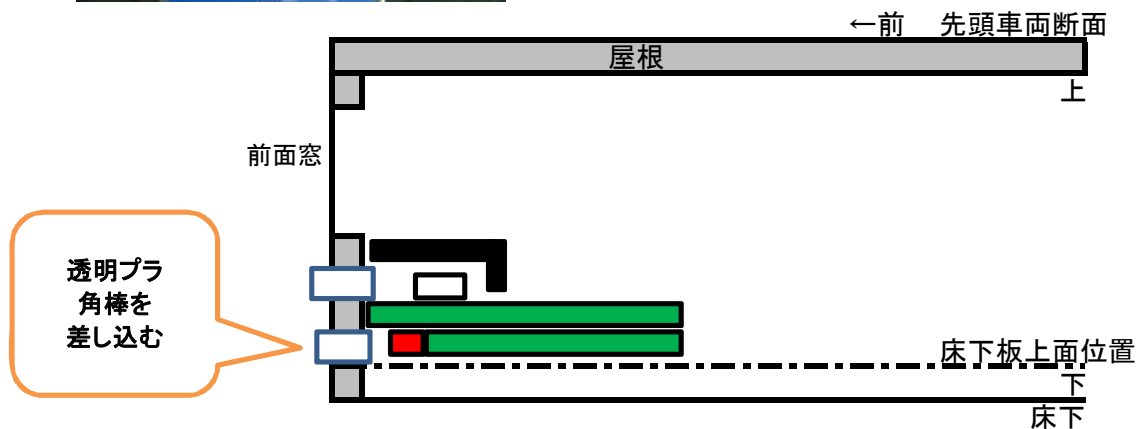


■前部標識灯・後部標識灯 点灯化計画解説(その4・LED組み込み編)

今回の製作車両(GMキット 京成3500形)において、後部標識灯についてLEDを組み込み導光状況を記載します。

①後部標識灯 車体レンズ表現

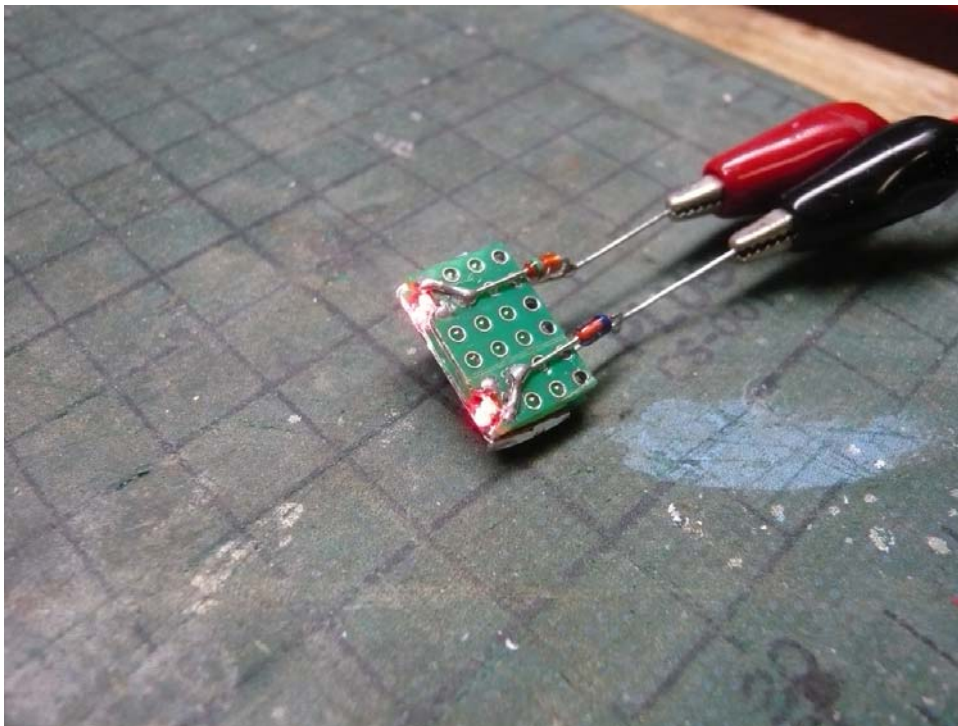
用意したのはヒルマモデルクラフトの透明プラ棒 0.5mm×1.0mmを用意。
(お茶の水 レモン画翠にて購入。)
<http://www.lemon.co.jp/>



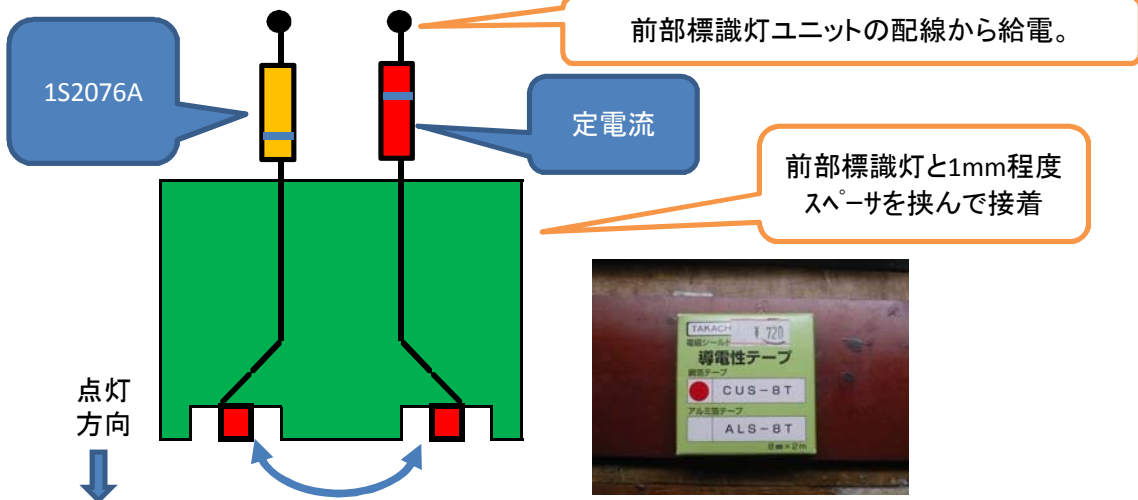
ピンボケ……分かり辛くてすみません。

- ★塗装後、前面のみ塗装を剥す事で部品を表現してみます。
……どうなるかは、塗装後報告します。。。。


②後部標識灯点灯ユニット製作
 使用部品については”その2”参照して下さい。



画像は、ユニットを下から見た点灯テスト時になります。
 実装と配線は下記になります。 手持ちの両面基盤を車体幅にカットし
 使用しています。 前部標識灯基盤の裏側に1mm程度浮かして取付。



この間の配線は、細く切った銅テープ(千石電商<http://www.sengoku.co.jp/>にて購入)を使用。
 基盤の側面に半田付け。

LEDは、右から左向けに  の向きで取付です。規格を良く確認下さい。
 小さすぎて、方向が分かる画像が撮れません。。。。。